

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。ここに第121期第3四半期（平成26年4月1日から平成26年12月31日まで）の営業の概況をご報告申し上げます。

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国は回復し、欧州では持ち直しの動きが見られたものの、中国の成長鈍化及び新興国の足踏み状態等により、緩やかな回復となりました。わが国経済は、政府の経済対策等に支えられ、緩やかな回復基調で推移したものの、消費税率引き上げの影響により個人消費や鉱工業生産等には弱い動きが見られました。

このような状況下、当社グループは、グローバルでの“成長”と高収益体質への“変革”を基本方針とした中期連結経営計画「Growth & Change 2015」を推進してまいりました。その一環として、国内事業基盤の強化のため、豊橋製造所（愛知県豊橋市）において新製鋼工場を建設し、試運転を開始いたしました。さらに、鋼材の適正な販売価格の形成を図るとともに、需要に応じた生産体制の構築や生産性の向上、省エネ等のコスト改善にも引き続き取り組んでまいりました。

今後のわが国経済は、政府が取り組む経済対策により、緩やかに回復していくと期待されるものの、個人消費の回復遅れや資源価格の下落、海外景気の下振れ等の不安材料があり、当社グループを取り巻く事業環境は厳しい状況が継続するものと思われまます。

このような経営環境下、当社グループは、中期連結経営計画「Growth & Change 2015」を推進する中で、成長が見込まれる海外市場に対して積極的に事業展開を図るとともに、国内のモノづくり基盤を強固なものとすることで、環境変化に強い事業構造を確立し、企業価値の一層の向上に努めてまいります。今後も、コーポレートメッセージ「One-piece Cycle」が表す「素材から製品までの一貫生産」の優位性を発揮し、トピー工業グループの一貫利益の追求とさらなる躍進を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年2月



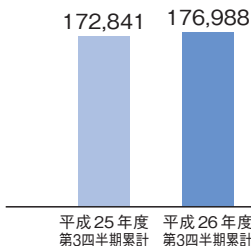
代表取締役社長

藤井 康雄

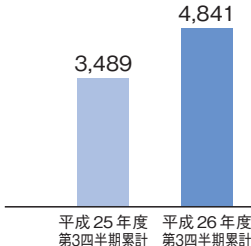
# 連結業績の推移

(単位：百万円)

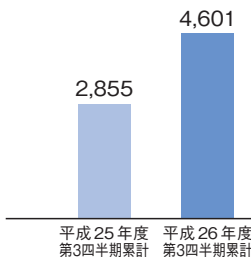
## 売上高



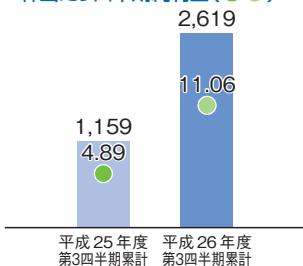
## 営業利益



## 経常利益



## 四半期純利益 (■) 1株当たり四半期純利益 (●) (円)



# 四半期連結貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

科目	平成25年度末	平成26年度 第3四半期末	科目	平成25年度末	平成26年度 第3四半期末
<b>資産の部</b>			<b>負債の部</b>		
流動資産	98,349	111,509	流動負債	82,192	85,895
固定資産	134,365	146,928	固定負債	54,303	69,814
有形固定資産	101,602	110,261	<b>負債合計</b>	<b>136,495</b>	<b>155,709</b>
無形固定資産	1,270	1,303	<b>純資産の部</b>		
投資その他の資産	31,492	35,363	株主資本	90,584	92,541
<b>資産合計</b>	<b>232,714</b>	<b>258,437</b>	その他の包括利益累計額	3,779	8,407
			少数株主持分	1,855	1,779
			<b>純資産合計</b>	<b>96,219</b>	<b>102,728</b>
			<b>負債純資産合計</b>	<b>232,714</b>	<b>258,437</b>

# セグメント別の営業概況

## 鉄鋼事業

売上高 54,553百万円  営業利益 2,677百万円 

電炉業界は、国内建設向け需要が底堅く推移しました。一方で、主原料である鉄スクラップ価格が期後半より下落したものの、電力をはじめとする諸コストの上昇等により厳しい環境が続きました。

このような状況下、当社グループは、適正な販売価格の形成や徹底的なコストの削減に努めました。

## 自動車・産業機械部品事業

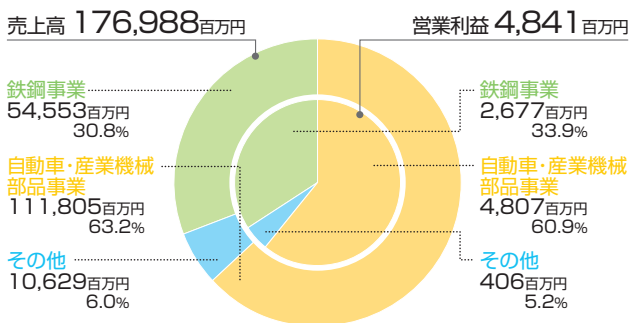
売上高 111,805百万円  営業利益 4,807百万円 

自動車業界は、消費税率引き上げに伴う需要の落ち込みによって、国内生産台数は前年同期を下回りました。また、建設機械業界は、中国や東南アジア市場が低迷するとともに、鉱山機械需要も引き続き低調に推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、軽自動車を中心とした乗用車用及びトラック用ホイールの販売が堅調に推移しました。しかしながら、あらゆる改善諸施策にも継続して取り組んでまいりましたものの、建設機械用足回り部品の中国や東南アジア市場向け販売数量の減少及び競争激化の影響を大きく受けました。

## その他

売上高 10,629百万円  営業利益 406百万円 



※セグメント別の営業利益及び構成比は、調整額調整前の数値で表示しております（合計 7,890 百万円）。

## 連結業績の予想

	平成25年度 実績	平成26年度 予想
売上高	234,682百万円	244,000百万円
営業利益	5,308百万円	6,600百万円
経常利益	4,485百万円	5,700百万円
当期純利益	1,914百万円	3,600百万円
1株当たり当期純利益	8.08円	15.20円

## 配当の状況

	平成25年度 実績	平成26年度 実績・予想
第2四半期末	0.00円	1.00円
期末	2.00円	3.00円
合計	2.00円	4.00円



敷地面積 約15万㎡ 従業員数 103名 (2014年12月末現在)  
生産品目 二輪車・四輪車用工業ファスナー

トピーファスナー・ベトナム CO.,LTD. (以下TFV) は、トピー工業グループとして初めてベトナムに進出し、2012年11月より生産を開始しました。

ベトナムの日系二輪車メーカーが、先進国向けに輸出をする際、高い品質を備えた部品が不可欠でした。TFVは、板バネ用大型連続熱処理炉を導入し、高品質な部品の需要増加への対応を行ってまいりました。現在では、プレス加工から熱処理、表面処理までを一貫生産し、高い品質とコストパフォーマンスを生み出すことにより、多くのお客様から信頼を獲得しています。

TFVの製品は、ベトナム国内の二輪車メーカー及び関連サプライヤーへ納入するとともに、日本、アメリカ、中国、東南アジア諸国へも輸出されています。

また、2014年11月には世界標準の品質保証体制を構築するためISO9001を認証取得しました。日本、アメリカ、タイの工業用ファスナー製造拠点とともに、今後お客様のご要望に応じてまいります。

